

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（概評）

【技術】

教科用図書北諸県採択地区協議会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

（観点1） 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	(1) 技術科の目標を達成するために、内容ごとに「生活や社会を支える技術」「技術による問題の解決」「社会の発展と技術」の3つの要素に沿って、「導入→基本ページ→学習のまとめ」という学習の流れの中で、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで記述されるなど、構成・配列の工夫が見られる。
6 教育図書	(1) 技術科の目標を達成するために、内容ごとに、簡単な製作等を通して技能を習得する「つくって学ぼう」、計画を含めた設計を行う「じっくり学ぼう」、技術の評価を行う「学びを深め生かそう」という一連の流れの中で系統立てて学習を進めることができるようにするなど、構成・配列の工夫が見られる。
9 開隆堂出版	(1) 技術科の目標を達成するために、内容ごとに、生活や社会の中にある技術に気付かせながら知識・技能を習得させ、それらを生かしながら「課題設定→設計・製作等→評価」という系統立てた一連の流れで問題解決を図り、振り返りながら定着させるなど、構成・配列の工夫が見られる。

2 内容や指導の充実

(観点2) 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、一連の学習過程の中に、主体的に調べたり、周りと協働して比較・検討したりするための発問等を設けた「活動」コーナーを多く取り上げるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、科学的な思考に基づいた技術の原理・法則や基礎的な仕組みについての内容を裏付ける図版や、取り組む課題に応じて必要な技能を適切に選択できる写真等を掲載するなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、持続可能な社会の構築に向け、技術の評価、適切な選択、管理・運用、新たな発想に基づいた改良を目的としたワークシートを掲載するなどの工夫が見られる。</p>
6 教育図書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、技術について調べさせ、考えさせる活動を取り入れ、まとめをグループで話し合わせるとともに、自らを振り返らせる「やってみよう」コーナーを設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、実習題材において、製作等の手順に沿った写真等を示し、基礎・基本的な技能を学ばせ、技術の科学的な原理・法則を理解させ、振り返らせるためのまとめのページを設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各内容の問題解決の場面で設計・計画の流れを「問題発見→考える→具体化→まとめる」の4ステップにまとめるなどの工夫が見られる。</p>
9 開隆堂出版	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、生徒が積極的に取り組めるような「導入課題」や活動を通して、他者との関わり合いをもてるようにするための「実験」「課題」を設定するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、身近なものと結びついた問いかけや解説により、科学的な原理や仕組みなどの理解につなげるとともに、それらを生かした実践的な技能について説明するページを設けるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、一連の学習を見通すことができるように「問題解決の流れ」を示し、学習した内容を生かせるように、関連した項目をページ数とともに示すなどの工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

(観点3) 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	(1) 学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味関心を高めるために、問題解決に必要な技能をまとめた「TECH Lab」コーナーで大きく鮮明な写真や図版を用いたり、他の学習とのつながりを重視するために、「リンク」・「他教科」・「小学校」などのマークを用いたりするなどの工夫が見られる。
6 教育図書	(1) 学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味関心を高めるために、製作等の手順に沿って分かりやすく作業を進めることができるように、各工程に大きな写真や図版を用いたり、他の学習とのつながりを重視するために、各内容の冒頭に「リンクマーク」と教科名を表示したりするなどの工夫が見られる。
9 開隆堂出版	(1) 学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味関心を高めるために、理解しやすいよう実際に作業をしているような大きな写真や図版を用いたり、他の学習とのつながりを重視し、適切な場面で連携するために、「他教科」・「小学校」などのマークを用いたりするなどの工夫が見られる。

4 地域の願いや思い、生徒の実態等

(観点4) 技術分野に関わる問題や課題を見出し、それを解決するために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 技術分野に関わる問題や課題を見出すために、「問題の発見、課題の設定」に関する学習内容を設け、問題発見トレーニングをしたり、フィッシュボーンや5W 1 Hなどの思考ツールを紹介したりして、生徒が自ら問題や課題を見出すことができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 技術分野に関わる問題や課題を解決するために、QRコードのコンテンツや「問題解決カード」を設け、技術によって問題を解決する方法を分かりやすく示し、生徒が自ら解決できるような工夫が見られる。また、「技術の匠」で、社会で活躍している技術に携わる人から問題解決の方法を学ぶ工夫も見られる。</p>
6 教育図書	<p>(1) 技術分野に関わる問題や課題を見出すために、小単位ごとに「見つける」「めあて」「キーワード」があり、生徒が自ら学習課題を設定しやすい。また、「やってみよう」では、身近なテーマを設定することで生徒の興味関心を高め、課題意識をもって学習に臨める工夫が見られる。</p> <p>(2) 技術分野に関わる問題や課題を解決するために、QRコードのコンテンツや「基礎技能」「技能チェック」「やってみよう」「学ぶ」の資料でわかりやすく示し、生徒が自ら解決できる工夫が見られる。また、「技ビト」「スゴ技」で、社会の中での課題解決を学ぶ工夫も見られる。</p>
9 開隆堂出版	<p>(1) 技術分野に関わる問題や課題を見出すために、小単位ごとに「学習の目標」があり、課題意識を高めることができる。また、学習の最初に、「調べてみよう」「考えてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」などの課題を示しており、生徒自ら問題を発見し課題を設定できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 技術分野に関わる問題や課題を解決するために、「動作のポイント」やQRコードのコンテンツで課題解決のポイントをわかりやすく示しており、生徒が自ら解決できる工夫が見られる。また、「参考」「課？題」など社会との関連を意識した資料が豊富で、問題解決を将来につなげようとする工夫も見られる。</p>